

# 宗祖弘法大師青葉祭祭文

敬うやまつて、真言教主大日如来しんごんきよつしゆ 両部界会りょうぶかいえ 諸尊聖衆しよぞんしよじゆ

三国伝灯さんごくでんとう 諸大阿闍梨耶殊しよだいあじやりやくと に別しては坐禅入定遍照金剛ざぜんにゆうじようへんじようこんごう、  
総じては尽空法界一切三宝の境界に白して言さく。

琵琶湖湖南の靈峰東方山は青葉あおばに茂り陽光は燦々と照りさんざん

輝く。初夏の安養寺境内は淡紅色の色彩たんこうで香りも豊かな石しやく

楠花なげが咲き誇る。千古の悠々せんこの中に、秀容しゅうようを示す。

御代みは、さる五月一日より令和元年の新時代を迎え、希望がんねん

と平和の続く新時代の幕を開ける。そもそも元号とは年げんごう

つける名前けんげんで、二千年以上も前に中国で定められた「建元」が

世界初の元号とされる。日本の元号は六四五年の「天化」たいかが

始まり。今回の令和で二四八番目の元号なり。

「初春の令月れいにして、氣淑く風和きよぎ、梅は鏡前かぜやわらの粉を披きようぜんき、

蘭らは珮後はいごの香を薰かおらす」という文書から「令」と「和」が使われ

る。文化を育はぐくみ、自然の美しさを愛めでるうるわしい歌から生

まれたもの。日本国政府は、新元号げんごうは人々が自然の美しく  
心を寄せ合うなかで、文化が生まれ、育つとの意味も込めら

れている」と説明している。この令和の出典の国書は万葉集でしゅつてん こくしょ まんようしゅう千二百年前に天皇から農民まで幅広い層の人々の歌が収められた歌集によるものである。わが国の豊かな国民文化の長いおさ伝統を象徴する日本人が書いた古典なり。こてん

千二百年前は、真言宗宗祖弘法大師の高野山開創、京都東寺を真言宗立教開宗の根本道場とされた平安時代なり。世界最大の国家中国より日本が仏教、政治、経済、文化、芸術を取り入れ日本独特の時代を創り上げ、弘法大師の真言密教はその土台になって人々の心の豊かさに貢献したものなり。みんぎょう どだい こうけん平安時代およそ四百年は戦争もなく軍隊も存在しない文化の香るよき時代、御世が続く。みよ

弘法大師はこの平安の文化、仏教の荷い手で万民の幸のため身命を賭された聖人なり。しんみょう と しょうにんその慈光は十方三世に未徒の群生を利益し、隨機の教旨は廣大無辺なり。ぐんじょう りやく ずいき きょうじ

今恭しく宗祖大師の御誕生瑞相を惟んみるに父君はいまうやうや ずいそう おも佐伯之直善通卿、母は阿刀氏玉依御前なり。乃ち光仁帝さえきのあたいよしみちきょう あとうじたまよごぜん すなわ こうにんてい

宝亀五年六月十五日讚州多度屏風ヶ浦に誕生したまう。寄ほうき さんしゅうたどびょうぶがうらしくも真言第六祖大広智不空三蔵が遷化される時なり。故だいろくそだいこうちふくうさんぞう せんげ

に正まさに宗祖大師さいたんは不空三蔵さいたんの再誕さいたんでないか、と伝えられる。

大師だいしは幼ようにして神童しんどうと称しょうされる。少年しょうねんにして山水さんすいを涉覽しょうらん、

二十四歳にじゅうよっさいにして三教指帰さんこうしききの名著めいぢよを著あわす。世界的著書ちよしよとして

評価ひやうかされ、内容は中国の道教どうきやう 儒教じゆ 仏教ぶつの三教さんきやうを説とく。

大師だいしはこの三教さんきやうのうちで仏教ぶつとの出会であいから生死しやうじの苦しみのを脱だつ

れ、ねはん「涅槃ねはんの道みち」に至いたる釈迦しやくかの教をえ、即すなわち仏道ぶつだうを解説かいせつして

る。いた「涅槃ねはん」によつて到いたりつく楽果らくか」を明あらかにする。

延暦えんりやく二十三年にじゅうさんねん萬里ばんりの波濤はとうを乗のり越こえて入唐にっとう求法ぐほ、空くうし

く往ゆいて「惠果けいか和尚かうしやう」に会あひ、師資ししの縁深えんふかく、惠果けいか和尚かうしやうより

「遍照くわんしょう金剛こんかう」の位くらいを授さげられる。空くうしく往ゆきて満みちて帰かえる」

のとおり、密教みじやくの法ほを授さかり日本真言宗密教にっぽんしんごんしゆを嵯峨さあが天皇てんかうよ

り授さかつた京都きやうと 東寺とうじで立教開宗りつきやうかいしゆする。四国しよこく八十八ヶ所はちじゅうはちか所しよ、諸しよ

霊場れいじやうの蒼創そうそう、讚岐さんぎ満濃池まんのういけの修築しゆぢゆく、我が国初わがくにの民間学舎みんかんがくしや綜しゆ

芸種智院げいしゆぢいんの開設等わ昼夜別あたず万民あを愍あみたまいて万民あの幸あ

福ふへ普賢ふげんの悲願ひがんに任じゆされる。

天長九年てんちやう万灯万峯会まんとうまんげえを修しゆせられるや 虚空こくう尽じゆき衆生しゆじやう尽じゆき

ねはんつ 涅槃尽きなば わが願いも尽きん」との大誓願せいがんにより遂に

じょうわ

みろくげしやう

あかつき

にくしん

承和二年三月二十一日、弥勒下生の暁を待って肉身を

こんごうじやう

いつけ

金剛定に示し高野山奥之院に御入定なしたまふ。一化六十

さんじぼさつ

そう

さいせいりじん

こやく

たま

二年三地菩薩の相を示し济世利人の巨益を示し給ふ。

えんぎ

しごう

たまわ

つつうらうら

延喜二十一年弘法大師の謚号を賜りたまふや津々浦々の

だんしん

ごうぎやうににん

おや

しやうじん

ほとけ

いま

しゆうし

檀信「同行二人のみ親、生身のみ仏高野山に坐す」と宗旨、

おんごん

こうえん

男女、遠近を問わず登り来たり、なお香煙たゆることなし。

だいししんこう

りやうげん

ごと

「天師信仰」は燎原の火の如く全国に広がる。まことに宗祖

せんざいふしゆっせ

しやうじや

にぶつちゆうげん

大師は千載不出世の聖者・二仏中間の仏なり。釈尊入滅後、

みろく しゆげん

ちゆうかん

五十六億七千万年を経て弥勒が出現するまでの中間の時、

むぶつ

じぞうぼさつ

しじゆう

さいど

無仏の世で、地藏菩薩が仏に代わって衆生を济度するとのい

われから大師がそのお働きをされる仏なりと。

ちゆうこう

そ

ここ東方山安養寺の中興の祖は弘法大師なり

本日、本堂薬師堂において、ご誕生の大師像を安置し大

こうたん

けいさん

ほうおんしやとく

たんせい

師の降誕を慶讚し青葉祭を厳修。大師への報恩謝徳の丹誠

たや

を捧げる。とくに安養寺熊谷俊亮和尚は今年も三月二十二

日より三十一日まで、四国八十八ヶ所霊場と並びに高野山

奥之院祖廟、高野山開創より大師を守護しさらに真言密教  
布教の神、立里荒神社、京都総本山泉涌寺へ報告参拜と  
都合四十一回目を果たされる。身はがんの大病を養生しながら  
らも、信心への燃える心はますます意気揚々とし、信火衰え  
ず、檀信徒の幸せを祈らんがための苦業である。誠に尊き哉。  
乞い願わくば、宗祖大師御誓願を三会の暁に期し、  
末世衆生悉く慈氏（弥勒菩薩）の恵光にあづからんことを。  
重ねて乞う。

即身成仏 密嚴国土 世界平和

万人豊楽 乃至法界 平等利益

令和元年五月十九日

京都府向日市寺戸町

西垣内十五・六四亀光庵

沙門 土口哲光

敬白